

第4学年A組 図画工作科学習誘導案

教諭 杉下 大輔

単元 がんばりおうえんマスコット

(本校教育課程 図画工作科単元 第5項 6月中旬～7月上旬 5時間)

「単元の問題」を提起する根拠

○ 子どもの興味・関心の実態

本学級の子どもは、教室の背面に掲示された企業等の様々なマスコットキャラクター（以下：マスコット）のイラストを見て、「このマスコット知っているよ。」「このマスコットを見ると、お菓子を思い出すね。」と話したり、お気に入りや伝えたりして身近な生活場面にあるマスコットに興味を示す姿が見られた。そのような子どもに、「なぜ、こんなに多くのマスコットがあるのかな。」と尋ねると、「それぞれにちがう役割があると思うよ。」と知っているマスコットと商品結び付けて話していた。さらに、プロ野球やJリーグのマスコットと観客と一緒に応援している動画を見せると、マスコットに注目して「応援にさらに気合いが入りそう。」と話したり、それを聞いて「自分のマスコットがいたら、ぼくももっとがんばれるよ。」と話したりするなど自分を応援してくれるマスコットを考えたり、作りだしたりすることへの関心が高まりつつある。

○ 子どもの能力の実態

本学級の子どもは、技能については前学年までの紙粘土を使った工作に表す活動を通して、手を十分に働かせて紙粘土の形や色を変えながらおよその表したいことに合うように作品に表すことを経験している。しかし、紙粘土とペットボトルなどを組み合わせてお気に入りの小物を表す活動では、表しながら、さらに工夫点を見付けて作りかえて表すことはできていない。思考力、判断力、表現力等については、自分のイメージから表したいものを見付けることはできるが、どのように表していくかを考えることが十分でない。これらのことは、他者の作品や表し方にある自分とちがう表現のよさや工夫点に気付くことができていないことや、見付けたことを基に見方や感じ方を広げて自分の思いに合うように作り、作りかえて表すことができていないことが原因であると考えられる。

○ 社会からの要求

現代社会において、テレビCMやネット広告、お菓子のパッケージなどでマスコットを見ない日はないというほどマスコットの存在が当たり前になっており、私たちにとって身近な造形作品と言える。スポーツにおいても選手とファンの連帯感や互いの士気を高めるためにマスコットを活用している。マスコットは受け手に目的に応じた印象を与えることができるように、その造形要素の細部まで考えられ、表されている。そのようなマスコットを自分たちの生活課題と自分を応援し励ますものという目的から発想し、形や色、ストーリーなどのイメージを膨らませ、自分の思いと目的に合った造形物として創造していくことは、楽しく豊かな生活をつくりだす態度を育む上で意義深いと考える。

○ 教科系統上の要求

本学級の子どもは、第1学年及び第2学年の工作に表す活動において、磁石や紙粘土を触りながら自分の生活を楽しくするマグネット飾りを思い付いてつくったり、変身したい生き物を想像して花紙でお面を表したりした。その際、思いに合うように形や色を選びながら、どのように表すかを考えることを学んでいる。第3学年及び第4学年では、これまでに、表すものの用途を踏まえながら、木材や紙粘土などの材料を生かして作品に表してきた。ここでは、学級や自分の生活をよりよくしていく視点から自分を応援するマスコットやそれが応援する姿を発想し、紙粘土や芯材を用いて、その表し方を考える力を伸ばしていく。このことは、第5学年及び第6学年の他者や社会に関わる意図をもち、自分自身が表現する主題を発想したり、その表し方や計画を考えたりする学習へと発展していく。

単元の問題

がんばりたいことをおうえんするマスコットを紙ねん土で表して、しょうかいしよう。

- 自分のがんばりたいことをおうえんするマスコットを考えよう。
- 紙ねん土を使って、自分の表したいがんばりおうえんマスコットをつくろう。
- がんばりおうえんマスコットがおうえんする様子をしょうかいし合おう。

目 標

<知識及び技能>

- 紙粘土などの材料の扱いに慣れるとともに、手を十分に働かせて、表したい思いや意図に合った形や色などの表し方を考えて表すことができる。

<思考力、判断力、表現力等>

- 参考作品との出会いや学級や自分の課題などから作品の形や色のイメージをもち、がんばりたいことを応援するマスコットや応援している姿を発想して、マスコットのイメージと紙粘土などの材料を結び付けて自分なりの表し方を考えるとともに、互いの表現のよさや面白さに気づき、作品の見方や感じ方を広げることができる。

<学びに向かう力、人間性等>

- 形や色などを視点に表したいマスコットを進んで考えたり、作りだしたりしようとするとともに、表したマスコットについて伝え合おうとする。

誘 導 の 着 眼

【着眼1】 表したい思いを高め、自分らしい表現を引き出す学習材の工夫

表現の欲求を刺激して表したい思いを持続させるとともに、がんばりたいことに合った応援をしている姿が表れるマスコットの表し方を見いだしていくことができるように、以下のような選択・決定ができる学習材を提示したり、学習材とのかかわりを工夫したりする。

選択・決定する学習材（ひと・もの・こと）	学習材とのかかわりの工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○ つくりだすマスコット <ul style="list-style-type: none"> ・ 応援する内容や内容に合った形や色 ・ マスコットの設定やストーリー 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級活動で考えた生活や学びづくりで自分のがんばりたいことを基に、どのようなおうえんマスコットがいたらよいかを話し合い、つくりだすマスコットのイメージをもつ活動を設定する。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 表現及び鑑賞する活動の形態や場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人、ペア、グループなど ・ 活動する場、表現と鑑賞のタイミング 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表現と鑑賞する活動を行き来して、思いと造形物の表し方が結び付く豊かな表現ができるように机を配置し、マスコットを思い付いた背景や応援する内容などを話しながら作品を見せたり、鑑賞して感じたことを伝え合ったりする活動を仕組む。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 表していく際の材料や表し方 <ul style="list-style-type: none"> ・ マスコットの芯材（紙の筒、乳酸菌飲料の容器、針金など） ・ 紙粘土の使用とその着色の仕方（練り込む・上から塗る） ・ がんばりたいことに合った応援をしている姿が表れるように、形や色を付け足したり、ポーズを変更したりするなど 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 芯材を変えた参考作品を提示して、芯材のちがいがから感じた作品の印象を問いかけたり、材料を選んで試す活動を設定したりする。 ○ 紙粘土の可塑性を味わったり、色を試したりして紙粘土を材料にするよさを実感し、紙粘土で思いに合う形や色を表したいという思いを膨らませる活動を設定する。 ○ がんばりたいことやイメージスケッチなどを表したアイデアカードとマスコットが応援する場を表したシートを手元に用意し、それらを見ながら表すように働きかけたり、考えた表し方になるように表現する活動を支援したりする。

【着眼2】 目的に合うようなマスコットの表し方を広げ、深めていく学び合いへの支援

友達とのかかわりの中で、がんばりたいことに合った応援をしていることが分かる表し方を見付け合いながら、作りかえて納得のいく表現を実現することができるように、以下のような学び合いを促す手立てを講じる。

ねらい	手立て
目的に合った形や色の表現に気付く	<ul style="list-style-type: none"> ○ がんばりたいことに合った応援をしている表し方ができている友達と、表し方に困り感をもつ友達を出合わせ、作品を見合う中で目的に合った表し方ができていると感じた点が明確になるようにしたり、実現したい表し方を支援したりする。 ○ がんばりたいこととマスコットの形や色の表し方が結び付いている作品を大型モニターに拡大投影して全体に示し、アイデアカードに表したマスコットの特徴や応援している様子と作品の表し方を比較しながら感じたことを問いかけたり、子どもの気付いた表し方のよさや面白さを価値付けたりする。
目的に合った形や色の表し方を実現する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達が表しているがんばりたいことに合った応援をしている姿が表れた表し方を、自分の作品の表し方に生かせるように、表し方を伝え合う活動を仕組んだり、表すことに困り感をもつ子どもの表現を支援したりする。

展開計画（総時間数5時間）

	主な学習活動	教師のねらいとその手立て	評価の規準と観点
であう	1 参考作品から感じたことを交流したり、マスコットへの思いや願いをもったりして、学習問題を設定する。 1	○ 自分を応援するマスコットをつくりだしたいという思いをもつことができるように、参考作品をストーリーとともに紹介したり、学校生活の写真を提示して自分のがんばりたいことから思い付いた造形表現に向かう形や色のイメージを伝え合う活動を設定したりする。	○ 学級生活を応援する自分のマスコットをつくりだすことに興味をもち、学習問題を見いだしている。 (主体的に学習に取り組む態度)
中心問題 がんばりたいことをおうえんするマスコットを紙ねん土で表して、しょうかいしよう。			
挑む	分析問題1 自分のがんばりたいことをおうえんするマスコットを考えよう。		
	2 つくりだすマスコットを考えたり、紙粘土や芯材を使った表し方を試したりする。 1	○ 思いや意図に合ったマスコットの形や色のイメージをつかむことができるように、思い付いた形や色などの視覚的なイメージを問いかけたり、イメージマップに表したりする活動を設定する。 ○ つくりだすマスコットを具体的にすることができるように、参考作品やそのアイデアカードを見せ、表したいマスコットの形や色のアイデアを絵に表したり、材料の形や色の具合を試したりする活動を設定する。	○ アイデアカードや材料からイメージを膨らませ、つくりだすマスコットを見付けている。 (思考・判断・表現)
分析問題2 紙ねん土を使って、自分の表したいがんばりおうえんマスコットをつくろう。			
	3 つくりだしたいマスコットを紙粘土や芯材を使って表す。 〈本時2/2〉2	○ 紙粘土と芯材を組み合わせるマスコットの形や色を表していくことができるように、芯材を変えた参考作品を提示して、芯材のちがいがら感じた作品の印象を問いかけたり、材料を選んで組み合わせを試す活動を設定したりする。 ○ 友達とのかかわりの中で、がんばりたいことに合った応援をしていることが分かる表し方を見付け合いながら、つくりかえて納得のいく表現に近付けることができるように、がんばりたいこととマスコットの応援する姿が結びつく作品を拡大して示し、見付けた表し方のよさや面白さを交流する活動を設定したり、思い付いた表し方について問いかけたりする。	○ 手や指先を十分に働かせ、粘土に着色したり、芯材と粘土の形を工夫してつくったりしている。 (知識・技能) ○ がんばりたいことに合った応援をしている姿が表れるマスコットの表し方を考えている。 (思考・判断・表現)
ふり返る	分析問題3 がんばりおうえんマスコットがおうえんする様子をしょうかいし合おう。		
	4 作品の仕上げをして、互いのマスコットを紹介し合う。 1	○ マスコットが応援する様子から、その形や色、表し方などの造形的なよさや面白さを感じ取ることができるように、鑑賞したい場所に設置をして紹介し、感じたことを伝え合う活動を設定する。	○ 自他のつくりだしたマスコットのよさや面白さを感じ取り、自分の見方や考え方を広げている。 (思考・判断・表現)

(1) 主眼

目的に合うようなマスコットの表し方を見合って気付いたことを伝え合ったり、自他のマスコットの形や色の表し方のよさを生かしてつくりかえたりする活動を通して、がんばりたいことに合った応援をしている姿が表れるマスコットの表し方を考えることができるようにする。

(2) 準備

紙粘土、絵の具、芯材、アイデアカード、応援場面のシート、書画カメラ、プロジェクター

(3) 展開

学習活動と子どもの意識	誘導上の留意点 (○) と評価 (※)
<p>1 本時学習のめあてをつかむ。</p> <p>(1) 前時を想起し、めあてを確認する。</p> <p>この時間は、何を応援しているマスコットか分かるように形を工夫したいな。アイデアカードの絵やお話から考えてみよう。</p> 	<p>○ 活動の見通しとめあてをもつことができるように、前時に見付けた友達のマスコットの表し方から、がんばりたいことと応援している姿が結び付いていることをアイデアカードと写真から気付かせ、思いが分かる表し方のよさを実感する活動を設定する。</p>
<p>がんばりたいことに合ったおうえんをしているマスコットの表し方を考えてつくろう。</p>	
<p>(2) 表し方のアイデアを出し合い、活動の見通しをもつ。</p> <p>2 応援マスコットをつくる。</p> <p>- 【自分らしい表し方を見付けながら表す活動】 -</p> <p>苦手な野菜もしっかり食べることを応援するから、食べたい野菜の形を足していこう。</p> <p>マスコットに何か付けていますね。なぜ、その形や色にしたのですか。</p> <p>- 【表現のこだわりを広げ深める学び合い】 -</p> <p>ぼくは、マスコットの応援ポーズを考えたので、つくりかえているよ。手を広げて応援する気持ちが伝わる形になってきたよ。</p> <p>マスコットのポーズを工夫したんですね。(大きく映して) みなさん、どうですか。</p> <p>ポーズを変えるのもいいなあ。私は本のマスコットだけど、たくさん読もうという思いになるように本の仲間を増やしていこう。</p> <p>なるほど、ポーズだけではなく、数を増やすのも気持ちが盛り上がるね。</p> <p>時間をしっかり守ろうというやる気が表れるように炎をイメージした目と赤い服を着せました。手に時計の針を持って応援しているポーズにもこだわりました。</p>	<p>○ 応援していることに合うように表現する活動の見通しをもつことができるように、自分のマスコットを表そうと思ったエピソードや何をどのように応援するマスコットかなどを友達と伝え合う活動を設定する。 【着眼1】</p> <p>○ がんばりたいことと造形物の表し方が結び付くような表し方を見だし表現していくことができるように、がんばりたいことやイメージスケッチなどを表したアイデアカードと造形物が活躍する場を表したシートを手元に用意し、それらを見ながら表すように働きかけたり、考えた表し方になるように支援したりする。 【着眼1】</p> <p>○ 友達とのかかわりの中で、がんばりたいことに合った応援をしていることが分かる表し方を見付け合いながら、つくりかえて納得のいく表現に近付けることができるように、がんばりたいこととマスコットの応援する姿が結び付く作品を拡大して示し、見付けた表し方のよさや面白さを交流する活動を設定したり、思い付いた表し方について問いかけたりする。 【着眼2】</p>
<p>本時の初め → 本時の終わり</p>	
<p>3 本時の学習をふり返り、次時の学習への見通しをもつ。</p> <p>私は字を丁寧に書くことを応援する鉛筆のマスコットを表しています。今日の工夫は旗をふって応援している姿です。次の時間は仕上げをして、教科書などと一緒に置いて応援するところを写真に撮って紹介したいです。</p> 	<p>※ がんばりたいことに合った応援をしている姿が表れるマスコットの表し方を考えている。</p> <p>○ 表したい思いを実現してきたことを自覚したり、次時への思いをもったりすることができるように、本時に表現できたことや活動を、ICT機器を使って視覚的にふり返る活動を設定する。</p>